



令和4年度全国高等学校総合体育大会出場



鈴木 王太 さん 伊藤 悠陽 さん



PROFILE

左：すずき おうた(下岬区・17歳) 身長177センチ
ポジションはボランチ。中学生のころはジュビロS S掛川に所属。
悠陽さんのことを「周りの状況を見て試合ができています」と話す。

右：いとう はるひ(佐倉一区・16歳) 身長173センチ
ポジションはフォワード。ジュビロ磐田U15に所属していた。
王太さんのことを「得点につながるパスを確実に出してくれる」と話す。

16大会ぶり2回目の全国

5月14日から6月5日にかけて開催された第70回静岡県高等学校総合体育大会サッカー競技で見事優勝し、7月24日から30日にかけて開催される令和4年度全国高等学校総合体育大会への出場権を獲得した磐田東高校。

同チームには1年生から3年生まで合わせて143人が所属する。その中でベンチ入りできるのはたったの20人。そのレギュラーメンバーである3年生の鈴木王太さん(下岬区)は、「県予選は挑戦者のつもりで戦った。自分たちのサッカーを心掛けてプレーしました」と振り返る。

同じく1年生ながら準々決勝以降の3試合に途中出場した伊藤悠陽さん(佐倉一区)は、「途中出場した自分はゴールへ向かって一気にボールを運ぶことが役割。全力で走りました」と話す。

県予選3回戦以降の対戦相手は格上チームだったものの、着実に勝ち上がっていった磐田東。試合を重ねるたび、部員全体の士気が高まり、個

としてもチームとしても成長できたという。

挑戦者・磐田東高校

「両利きで1対1が強い王太は攻守ともに頼れる存在。悠陽は左利きでボールさばきの技術が高いため相手が翻弄されるんです」と話すのは、同チームで選手を指導して22年の山田智章監督。万能型と特徴型、プレースタイルの違いが2人がチームを勝利へと導いた。

磐田東の強みは、突出した選手はいないものの、チームとしてのまとまりをもち、組織的な攻防ができること。山田監督は「全国大会でも一つひとつ目の前の試合を平常心で、楽しく、自分たちらしいサッカーをしてほしい」と選手たちの活躍を期待する。

王太さんと悠陽さんは「自分たちの力で手にした出場権。チームの勝利に貢献できるように一試合ずつ丁寧にプレーしていきたい」と決意を新たにす。

強豪校に挑戦者として立ち向かう磐田東の快進撃はまだまだ止まらない。